



## 活動ニュース

この間、民間保育園を訪問し、快く対応していただき懇談しました。皆さんから寄せられました要望を持って、8月21日（水）衆議院議員会館にて塩川鉄也衆議院議員、江尻かな県議、県内の議員、つくば市からは橋本けい子・山中まゆみ両市議、そして、私、佐藤せつ子も省庁交渉に参加しました。

### 要望内容

今保育士の賃金は、平均月額27万1千円で、全職種平均と比べると、9万2千円も低いといえます。加配加算だけでなく施設給付費単価を増額し、基本給をあげてほしい。

#### 〈佐藤せつ子の発言〉

保育現場では保育士不足が深刻です。知人の保育園長さんは命を預かるという緊張した毎日を生懸命に取り組んでいます。国からはあれをやれ、これをやれと言われるが、一日が子どもたちと無事過ごすことで精いっぱいです。保育士不足の大きな原因は低賃金です。保育士はこれでは結婚もできないとやめていきます。一般募集では応募者がないので派遣業界に依頼すると紹介料などの負担で経営も大変です。それでも派遣業界を使わざるを得ません。つくば市は独自の保育士への3万円補助をしていますが、まだまだ足りません。しかも他の職種には適用されず不公平感があります。国の制度としてなんとかしてください。

### これについての厚労省の返答

全職種との差はご指摘のようにいまだに低いと認識しております。  
年々、差は少なくなってきたと思いますが、、、、、、

### 省庁交渉の様子



私は今回、初めて参加しましたが、今後も保育士処遇改善、要望実現のために、粘り強く取り組んでいく事が大切だと感じました。引き続き、皆さんと共に頑張ります。ご意見、ご要望をお寄せ下さい。